

CONTENTS

会社概要	3
トップメッセージ	5
JTグループのCSR	7
■ 特集1	
葉たばこ産地における取り組み	9
■ 特集2	
守り、育てる森から共生する森へ	13
製品と消費者に対する適切な取り組み	15
たばこ事業における取り組み	15
医薬事業における取り組み	19
食品事業における取り組み	21
サプライチェーンマネジメント	23
JTグループ調達基本方針	23
事業におけるサプライチェーンマネジメント	24
経営基盤の強化	25
コーポレート・ガバナンス	25
コンプライアンス	26
リスクマネジメント	26
人財マネジメント	27
地球環境への取り組み	31
JTグループの環境マネジメント	32
事業活動に伴う環境負荷とその低減への取り組み	35
地球温暖化防止への取り組み	37
循環型社会形成への取り組み	39
生物多様性保全への取り組み	40
その他の取り組み	40
環境コミュニケーション	40
海外における環境への取り組み	41
2011年度 環境会計	
地域との共生を目指して	43
東日本大震災 被災地域への支援活動	44
世界各地の社会貢献活動	45
JTのあゆみとCSR	48

URL 関連するホームページのURLを示しています

■ 編集方針

JTグループでは、事業を通じて社会的責任を果たすことが重要であるとの考えのもと、CSR推進に取り組んできました。JTグループは、1998年にはじめて「環境報告書」を発行し、2005年度からは「社会・環境報告書」として環境面を含むCSRの取り組み全般を紹介してきたところですが、事業を通じて社会的責任を果たすことが重要であるとの考えは一貫して変わることはありません。

今回、「CSR報告書2012」の発行にあたっては、「製品と消費者に対する適切な取り組み」「サプライチェーンマネジメント」「経営基盤の強化」「地球環境への取り組み」「社会貢献活動」の5つのテーマに沿って取り組み内容を記載し、事業と直結したテーマについては、たばこ・医薬・食品のそれぞれの事業特性に応じた取り組みを紹介しています。例えば、「製品と消費者に対する適切な取り組み」では、各事業における重点課題への取り組みについて紹介し、「サプライチェーンマネジメント」では、原料調達や製造工程などにおける品質・安全管理などを中心に、各事業において特に力を入れている取り組みを紹介しました。さらに、たばこ事業については、特に社会の関心が高まっている葉たばこ生産地における取り組みを特集1で取り上げました。

今後、私たちJTグループがCSRの取り組みをさらに推進していくためにも、ステークホルダーの皆様からのご意見が欠かせません。本報告書ならびにJTグループのCSRの取り組みについて、皆様からのご意見やご感想をお待ちしています。

■ 報告対象期間

2011年度(2011年4月1日~2012年3月31日)を報告対象期間としています。

ただし、2012年度以降の取り組みについても一部記載しています。

■ 報告対象範囲

JTグループの日本国内の取り組みを中心に紹介しています。環境の取り組みについては、環境マネジメント対象会社(JTおよび連結子会社240社：2012年3月末現在)を範囲としています。

〈主なJTグループ対象会社〉

日本たばこ産業(株)	鳥居薬品(株)
TSネットワーク(株)	テーブルマークグループ
日本フィルター工業(株)	ジャパンビパレッジグループ
Japan Tobacco International	

■ 発行時期

2012年6月

■ 参考にしたガイドライン

- 環境省「環境報告ガイドライン」(2007年版)
- 環境省「環境会計ガイドライン」(2005年版)

■ ウェブサイトではさらに詳細な報告を行っています。



CSRの取り組み
URL www.jti.co.jp/csr

■ 財務情報についてはウェブサイトでご覧いただけます。



株主・投資家の皆様へ
URL www.jti.co.jp/investors